

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年8月31日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	270	32	4	134	133	303
令 和 6 年	224	36	1	98	112	247
前 年 同 期 比	46	-4	3	36	21	56

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	51	18.9%	8	0	24	25	57
	後立山	76	28.1%	7	1	36	47	91
	その他	42	15.6%	0	0	29	19	48
計		169	62.6%	15	1	89	91	196
中央アルプス		17	6.3%	4	1	6	8	19
南アルプス		9	3.3%	0	1	8	0	9
八ヶ岳連峰		27	10.0%	3	0	16	9	28
その他の山岳		48	17.8%	10	1	15	25	51
計		270		32	4	134	133	303

3 態様別発生状況

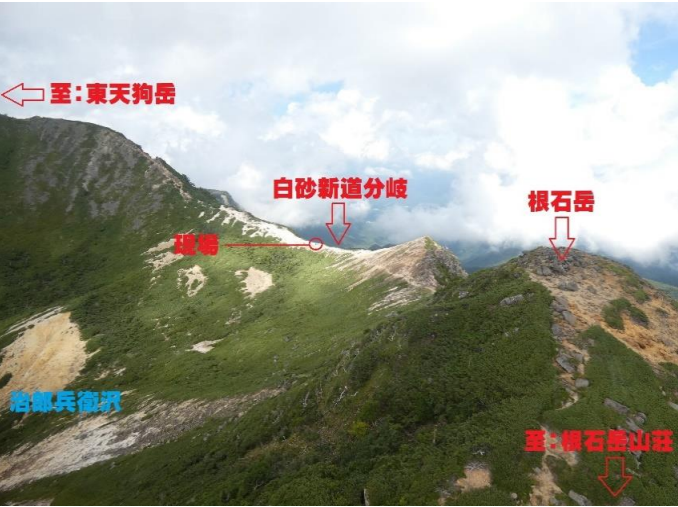
区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	73	27.0%	19	0	56	0	75
転 倒	67	24.8%	1	0	66	0	67
病 気	19	7.0%	3	0	0	16	19
道 迷 い	29	10.7%	0	0	0	45	45
落 石	7	2.6%	0	0	7	0	7
雪 崩	2	0.7%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	39	14.4%	1	0	0	42	43
不明・他	34	12.6%	7	4	4	29	44
計	270		32	4	134	133	303

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5	37 18.0%	0	0	1	0	1	18 18.4%	6	55 18.2%
20代	1	0	3	14	18		0	0	1	5	6		24	
30代	3	1	3	7	14		0	0	3	8	11		25	
40代	4	1	12	11	28	76 37.1%	1	0	14	3	18	43 43.9%	46	119 39.3%
50代	6	0	19	23	48		1	0	18	6	25		73	
60代	5	1	23	19	48	92 44.9%	0	0	15	8	23	37 37.8%	71	129 42.6%
70以上	11	1	13	19	44		0	0	9	5	14		58	
計	30	4	73	98	205		2	0	61	35	98		303	
比 率	67.7%						32.3%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（8/25～8/31）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
8月25日	北アルプス 爺ヶ岳	男	65	負傷	転倒	3人パーティで爺ヶ岳から下山中、転倒、負傷
8月26日	ハケ岳連峰 東天狗岳	男	48	負傷	転倒	単独で中山峠から東天狗岳に向けて登山中、転倒、負傷
	東天狗岳 現場 降下場所 					上記遭難現場写真
8月27日	北アルプス 奥穂高岳	男	58	負傷	転倒	単独で奥穂高岳から涸沢に向けて下山中、転倒、負傷
8月28日	ハケ岳連峰 東天狗岳	男	68	負傷	滑落	単独で根石岳から東天狗岳に登山中、スリップし、滑落、負傷
	至: 東天狗岳 白砂新道分岐 根石岳 至: 根石登山荘 					上記遭難現場写真
8月28日	北アルプス 烏帽子岳	男	73	無事救出	発病	2人パーティで烏帽子岳付近の山小屋に滞在中、発病により、行動不能
8月29日	北アルプス 蝶ヶ岳	女	64	無事救出	疲労	単独で蝶ヶ岳付近の山小屋に滞在中、疲労により、行動不能
8月29日	北アルプス 白馬乗鞍岳	女	52	負傷	転倒	2人パーティで樽池登山口から白馬乗鞍岳に向けて登山中、岩場でバランスを崩し、転倒、負傷
8月29日	南アルプス 易老岳	男	70	負傷	転倒	2人パーティで光岳から易老渡に向けて下山中、足を滑らせ、転倒、負傷
8月29日	北アルプス 横通岳	男	66	負傷	転倒	14人パーティで大天井岳から常念岳に向けて縦走中、転倒、負傷
8月30日	北アルプス 燕岳	女	43	負傷	転倒	単独で燕岳から中房登山口に向けて下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
8月30日	南アルプス 仙丈ヶ岳	女	81	負傷	転倒	3人パーティで北沢峠から仙丈ヶ岳に向けて登山中、木の根につまづき、転倒、負傷
8月30日	ハケ岳連峰 蓼科山	男	62	負傷	転倒	単独で蓼科山から下山中、転倒、負傷



8月30日	霧ヶ峰 蝶々深山	女	81	無事救出	疲労	31人パーティで蝶々深山に入山し、山頂付近で疲労により、行動不能
8月31日	中央アルプス 千畳敷	女	58	負傷	転倒	3人パーティで千畳敷から宝剣岳に向けて登山中、転倒、負傷
8月31日	小川山	女	47	負傷	転落	5人パーティで小川山でクライミング中、転落、負傷
8月31日	天狗山	男	61	無事救出	道迷い	単独で天狗山から下山中、ルートを誤って道に迷い、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週は、16件遭難が発生し、転倒や滑落による遭難が多発しました。
夏山(7月～8月)が終了しましたが、この期間中の遭難は

143件154人

死亡:6人 行方不明:0人 負傷者:75人 無事救助:73人

となり、昨年に続き、二年連続で過去最多です。

- 遭難の態様別では
- 転倒:44件
 - 疲労:33件
 - 滑落:28件

の順となり、上記の遭難には、猛暑による脱水等に起因する遭難も相次ぎました。
秋山も、しばらく厳しい残暑が続きます。体力的にゆとりある計画と熱中症対策に万全を期すようにお願いします。
なお、秋山は朝夕と日中の寒暖差が大きくなり、日没も日ごとに早まります。気象状況によっては、低体温症の恐れもあるため、防寒装備やヘッドライトの携行をお忘れなく。